

**2019年11月1日**

## 国会「正常化合意」

与野党、国会正常化で合意＝衆参予算委を来週開催

時事通信 2019年11月01日 11時55分



会談に臨む自民党の森山裕国対委員長（中央右）と立憲民主党の安住淳国対委員長（同左）ら＝1日午前、国会内

自民、立憲民主、国民民主の与野党3党国対委員長が1日午前、国会内で会談し、自民党の河井克行氏の法相辞任を受けて空転した国会審議の正常化で合意した。野党が求めていた予算委員会の集中審議を衆院で6日、参院で8日にそれぞれ開く。

日米貿易協定承認案の質疑が予定されていた1日の衆院外務委員会は取りやめとなった。自民党は、これまで目指していた承認案の来週中の採決を見送る方針だ。関連する委員会との連合審査は、当初予定していた5日から7日にずれ込む方向。自民党は13日の委員会採決、14日の衆院通過を目指し、仕切り直す。

## 国会、連休明け審議再開へ 集中審議6、8日実施

2019/11/1 12:33 (JST)共同通信社

会談に臨む自民党の森山国対委員長（右）と立憲民主党の安住国対委員長＝1日午前、国会

与野党は河井克行前法相の辞任を受けて空転した国会審議を連休明けから再開させる。自民党の森山裕、立憲民主党の安住淳国対委員長が1日、国会内で会談して合意した。安倍晋三首相が出席する衆参両院の予算委員会集中審議を6、8両日に開催する日程も確認した。

1日の衆院各委員会の開催は見送る。日米貿易協定承認案に関し自民党幹部は、来週中の衆院通過が困難になったとの見通しを明らかにした。承認案の質疑を1日の外務委員会で予定していた。今月中旬の衆院通過を目指す。

国会が一時空転したことに関し、森山氏は記者団に「こういうことがないようにしてもらいたい」と政府に苦言。

## 予算委の集中審議は衆院6日、参院8日で合意

毎日新聞 2019年11月1日 12時20分(最終更新 11月1日 12時20分)

自民党の森山裕国会対策委員長と立憲民主党の安住淳国会対策委員長は1日午前、国会内で会談し、河井克行前法相の閣僚辞任を受け、野党が要求していた予算委員会の集中審議を衆院で6日、参院で8日に開くことで合意した。

河井氏が10月31日午前に法相を辞任したことを受け、31日に予定されていた衆院本会議や、衆院憲法審査会など予定していた全ての委員会は開かれず、国会が空転していた。安倍

晋三首相の任命責任を追及する姿勢を強める野党は予算委の集中審議を求め、与党は1日からの国会の正常化を予算委開催の条件として提示していた。

森山、安住両氏は1日朝から断続的に協議。野党は、予算委集中審議の開催と共に要求していた英語民間試験の導入延期を萩生田光一文部科学相が発表したことで態度を軟化させた。

一方、国会の焦点の一つの日米貿易協定承認案について、自民党幹部は8日までの衆院通過を断念する考えを示した。憲法の衆院優越規定により参院送付から30日で自然成立するため、与党は閉会1カ月前の11月8日までの衆院通過を目指していた。しかし、国会の不正常な状態が続いたため、8日までの衆院通過は難しいと判断した。【立野将弘、野間口陽】

## 国会、来週に審議再開 予算委6、8日に開催 与野党が合意

日経新聞 2019/11/1 13:30

自民党の森山裕、立憲民主党の安住淳両国会対策委員長は1日、国会内で会談し、安倍晋三首相が出席する予算委員会の集中審議を衆院で6日、参院で8日に開くことで合意した。1週間で2人の閣僚辞任を招いた首相の任命責任や英語民間試験の導入延期などが議題となる見通しだ。

河井克行前法相が10月31日に辞任し、衆参両院で委員会審議が止まっていた。野党4党は同日の幹事長・書記局長会談で、首相出席の予算委集中審議や英語民間試験の導入延期が実現しなければ審議に応じない方針を決めた。与野党の国対委員長が審議再開に向け断続的に協議を重ねていた。

1日午前、萩生田光一文部科学相が英語民間試験の2020年度からの導入を延期すると表明した。野党側は2つの要求が満たされたとして、来週から国会審議を再開することに同意した。安住氏は記者団に「閣僚2人が辞めた異例の事態を受けて厳しく対応した。野党が一丸となって1強と呼ばれる安倍政権を動かしたのは大きな実績だ」と述べた。

1日の衆院各委員会の開催は見送った。衆院外務委員会では日米貿易協定の承認案の審議を予定していた。自民党幹部は当初めざしていた来週中の承認案の衆院通過が困難になったとの見通しを明らかにした。

野党4党は1日、国会内で開いた緊急集会で、英語民間試験の導入を巡る混乱で文科相の辞任を求める方針を確認した。立民の枝野幸男代表は「閣僚2人の辞任をはじめ、たがが外れている安倍政権。締め直させる役割、責任を我々が果たす」と強調した。国民民主の玉木雄一郎代表は集会后「萩生田氏は文科相の資質がないのではと厳しく問われている。予算委の結果によって不信任案につながる」と述べた。

## 国会、週明け審議再開へ 6、8日に集中審議 法相辞任で空転

産経新聞 2019.11.1 13:52

与野党は河井克行前法相の辞任を受けて空転した国会審議を連休明けから再開させる。自民党の森山裕、立憲民主党の安住淳両国対委員長が1日、国会内で会談して合意した。安倍晋

三首相が出席する予算委員会集中審議を6日に衆院、8日に参院でそれぞれ開催する日程も確認した。

1日の衆院各委員会の開催は見送る。日米貿易協定承認案に関し自民党幹部は、来週中の衆院通過が困難になったとの見通しを明かした。承認案の質疑を1日の外務委員会で見通ししていた。今月中旬の衆院通過を目指す。

与党は、衆院通過後30日以内に参院が議決しなければ自然承認される憲法規定を前提に、12月9日の今国会会期末までの成立を確実にしたい意向だった。

## 国会 来週の集中審議で与野党合意

NHK2019年11月1日 15時08分



自民党と立憲民主党の国会対策委員長らが会談し、野党側が閣僚の相次ぐ辞任について、安倍総理大臣みずからが説明責任を果たすよう求めていることを受けて、来週、衆参両院の予算委員会を開き、集中審議を行うことで合意しました。

自民党の森山国会対策委員長と、立憲民主党の安住国会対策委員長らは、菅原前経済産業大臣に続き、河井前法務大臣が辞任したことを受けて、1日も断続的に会談しました。

このなかで、安住氏は、安倍総理大臣みずからが説明責任を果たすべきだとして、速やかに衆参両院の予算委員会を開き、集中審議を行うよう、改めて求めました。

これに対し森山氏は、来週6日に衆議院で、8日に参議院で、安倍総理大臣も出席して予算委員会を開き、集中審議を行うことを提案し、合意しました。

そして、河井前大臣の辞任で、31日に見送られた国会審議は、来週から再開される見通しとなりました。



# 1週間2人辞任 打撃



河井法相の辞任について記者の質問に答える安倍首相(10月31日午前、首相官邸で)

## 河井法相更迭

首相が河井氏の交代を決めたのは、週刊文春の電子版で疑惑が報じられた30日だった。妻の疑惑とはいえず、換事総長への指揮権を持つ法相として、職務継続は難

く、求心力の低下がさまやかれている。〈本文記事1面〉

安倍首相は31日、公職選挙法違反疑惑が妻に浮上した河井法相の更迭を即断した。「閣僚辞任ドミノ」の痛手を最小限に抑える狙いだ。首相が重視する憲法改正論議の遅れは避けられない。菅官房長官は自らに近い「初人閣組」の相次ぐ辞任で、求心力の低下がさまやかれている。〈本文記事1面〉

### ■人事の代償

「国民の皆様信頼を回復し、しっかり行政を前に進めていく。その中で責任を果たしていきたい」。首相は首相官邸で河井氏の辞任と森雅子氏の就任を発表した後、神妙な面持でこう語った。首相は9月の内閣改造で、河井氏や菅原一秀・前経済産業相を含む内閣特命組を積極的に起用したが、1週間で2人が辞任した。「滞員一掃」とも言われた人事の代償は大きく跳ね返ってきている。

### 法務



森 雅子 55  
自民党参院議員  
消費者・少子化相。東北大

\* 〇は細田派。□数字は当選回数。敬称略

## 野党硬化 改憲論議に遅れ

野党の態度硬化で動きようがない」と頭を抱えた。野党の態度硬化で動きようがない」と頭を抱えた。

### ■菅氏に逆風

与党内では、政権の屋台骨として大きな存在感を発揮してきた菅氏の影響力が低下するかどうか注目が集まっている。

自民党内で菅氏を支持する無派閥議員のグループは複数あり、このうち、河井

閣僚の相次ぐ辞任で国会は対立ムードが強まっており、与野党による憲法改正論議の機運はしぼんでいく。衆院憲法審査会は31日、9月に欧州を訪れた憲法審

議員団の視察報告と自由討議を行う予定だったが、中止となった。自民党幹部は「首相のレガシー(政治遺産)づくりに協力したいが、野党の態度硬化で動きようがない」と頭を抱えた。

### ◆年内の主な政治日程

10月	31日～	タイで東南アジア諸国連合(ASEAN)閣連首脳会議
11月	11月4日	大嘗祭(だいじょうさい)
	14、15日	安倍首相の通算在職日数が桂太郎氏を超え、歴代1位に
	20日	国会会期末
12月	9日	国会会期末

氏は「河日(河井)襲念」、菅原氏は「令和の会」をそれぞれ主導し、「菅側近」を競ってアピールしてきた。菅氏も両氏を重用してきた。河井氏を巡っては、7月の参院選で妻の案里氏の応援に2回入るなど全面的に支援。案里氏が現職だった溝手顕正・元防災相に競り勝つ原動力になった。

菅氏が河井、菅原両氏の初入閣を後押ししたとされる。ただ、河井、菅原両氏は過去にも、週刊誌報道で事務所秘書への言動などが問題視されたことがある。党内では、「2人が閣僚になれば、週刊誌の標的になる可能性があった。政権運営の混乱を招いた菅氏の責任は重大だ(中堅議員)」との批判も出ている。

菅氏は4月の新元号発表で「令和おひさん」として知名度を上げ、「ポスト安倍」の有力候補に躍り出た。菅氏にとって官房長官就任後、最大の逆風とも言える今回の騒動は、首相の後継レースの行方にも微妙な影響を与えそうだ。